

令和4年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

1. 趣 旨

誰もが安心して暮らせる支え合いのあるまちづくりを進めるためには、住民一人ひとりが主体的に地域福祉活動へ参加することが重要です。しかし、少子・高齢化や社会構造の変化は、高齢者・単身世帯の増加や地域間格差を広げています。また、住民同士のつながり意識の希薄化や地域活動の担い手不足など、住民同士で支え合う力の低下が危惧されています。

これまで地域活動を支えてきた住民主体の助け合い活動団体においても、活動の担い手不足や、メンバーの高齢化・固定化による後継者不足が深刻な問題となっています。

住民主体の助け合い活動が地域に浸透するためには、住民主体の生活支援サービスの理解や、地域での支え合い・助け合い意識の醸成、地域福祉活動への参加支援が重要であり、そのためには住民や地域の組織・機関（社会福祉協議会、自治会、民生委員児童委員協議会、住民グループ、地域包括支援センター、子ども・子育て支援を行うための組織等）と共に世代を超えた住民同士が地域の困り事を共有し、互いに意見し合える交流の機会が必要です。

本フォーラムでは、多様な主体が相互に連携して活動することで、住民の社会参加の場の創出や、住民一人ひとりに住民参画の必要性の理解が広がる実践を通じて、これからの助け合い活動のヒントを得ます。

2. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3. 共 催 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会
一般社団法人 全国食支援活動協力会
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

4. 開催日 令和4年 10月21日（金）

5. 会 場 オンライン会議（ZOOM 内）
※WEB 視聴により開催

6. 参加対象

- ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）
- ・住民主体による生活支援のサービスや活動に関心のある方
- ・助け合い活動、生活支援サービスを行う NPO、ボランティア団体、関係団体

- ・生協、農協、社会福祉協議会等関係者
- ・行政・自治体関係者

7. 参加定員 450名 ※分科会ごとに定員があり、それぞれ定員になり次第、締め切りとさせていただきます
 第1分科会：150名
 第2分科会：150名
 第3分科会：150名

8. 参加費 2,000円（※支払方法等については、8ページ目をご確認ください）

9. 申込締切 令和4年10月12日（水）
 ※締切日以降も、定員に達するまで申込をお受けします。

10. プログラム

【第1部 全体会】13:00～13:45

時間	内容
13:00	開会
13:05～13:35 (30分)	<p>基調提起 『一人ひとりの力を活かした「福祉でまちづくり」 ～地域住民の主体的な参加を促すポイントを学ぶ～』</p> <p>秋田県藤里町社会福祉協議会の取り組みから、一人ひとりの力を活かすまちづくりの視点を学びます。引きこもり等実態調査の把握、「こみっと」支援事業、プラチナバンク事業等を進めるために、地域住民や組織団体等をどのように巻き込んでいったのか、工夫や参加を促すポイントを通して、地域づくりのヒントを得ます。</p> <p>登壇者：菊池 まゆみ 氏 （秋田県・社会福祉法人藤里町社会福祉協議会 会長）</p>
13:35～13:45	【分科会への移動・休憩】

【第2部 分科会】13:45～16:30

＜第1分科会：住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会＞
「住民相互の助け合い活動を広げるためのネットワークの充実」

住民相互の助け合い活動では、求められるサービスの多様化や、担い手・利用者の不足、メンバーの固定化・高齢化による後継者不足などを背景として、サービスの継続のためにさまざまな課題への対応が求められています。

その対応として、例えば行政、社協、企業、他の助け合い活動団体等の組織・団体、地域のネットワークや協議体等、生活支援コーディネーター（SC）等の専門職の協力は不可欠です。

このような協力・連携の取り組みは助け合い活動の住民理解や、担い手養成、会員増（担い手、利用者）に大きな効果を持つことから、分野や課題を横断してサービスの実践を進めている方々に、各団体での工夫や地域全体での取り組み等の実際を報告いただき、これからの助け合い活動のヒントを得ます。

時間	内容
13:45～ 14:10（25分） ※質疑応答含む	実践報告①「千葉県たすけあい協議会が考える現状と課題 ～今、あらためて「たすけあい」を考える～」 佐久間 浩子 氏 （千葉県・特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど代表）
14:10～ 14:35（25分） ※質疑応答含む	実践報告②「住民主役のささえあい活動の展開 ～一人ひとりが活躍できる地域づくりを～」 岡田 あかね 氏 （徳島県・特定非営利活動法人 YOU&ゆう 理事長）
14:35～ 15:00（25分） ※質疑応答含む	実践報告③「コロナ禍で影響を受けサロン活動から配食弁当による見守り活動へ ～地域の助け合い活動団体の活動を応援する～」 齋藤 鈴子 氏 （鹿児島県・社会福祉法人隣の会 理事長）
15:00～ 15:20（20分）	パネルディスカッション 【登壇者】 佐久間 浩子 氏 岡田 あかね 氏 齋藤 鈴子 氏 （コーディネーター） 隅田 耕史 氏

	(大阪府・特定非営利活動法人フェリスモンテ 事務局長／住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事)
15:20～ 15:35 (15分)	説明・休憩・ブレイクアウトルームで移動
15:35～ 16:15 (40分)	意見交換会 「地域の継続した助け合い活動をめざして」 それぞれの団体が活動を継続していくために取り組んでいる運営上の工夫などを報告し合い、課題の発見と対応、取り組み等を共有し、今後の活動を展望します。 【討議内容】 (1) 実践報告を聞いての感想 (2) 地域での連携やネットワークについて (3) 活動継続のノウハウ (担い手・利用者不足の解消、後継者不足の点で工夫していること)
16:15～ 16:25 (10分)	まとめ 【すすめ方】 ・2～3グループ程度よりグループ討議の内容を報告(1グループあたり2分程度)
16:25～ 16:30 (5分)	【全体会への移動・休憩】

<第2分科会：一般社団法人 全国食支援活動協力会>

「食支援から見えてきた、社会課題の解決に向けて」

食支援活動は1970年代に高齢者の配食、会食を主として始まりました。その後、障害者が担い手として高齢者を支援する、また誰もが安心して過ごす居場所づくりとしてのコミュニティカフェなど、対象者像が広がりました。近年では、こども食堂というかたちで、子ども・若者の孤立と食を通じて参加するきっかけづくりが広がりました。しかしながら、近年のコロナ禍により従来の会食型が難しくなると、フードパントリーやお弁当の配布などが同時多発的に始まりました。本会では、活動の変化に伴い増えた負担を軽減し、企業からの食料の寄贈を全国にシェアするために、「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS)」を推進しています。

この度は、こうした多様な食支援の事例を学ぶと共に、「食を通じた在宅へのアプローチ」から見えてきた課題を関係者で共有する機会にしたいと考えております。

時間	内容
13:45～ 13:50 (5分)	事務局からご案内

13:50～ 13:55 (5分)	開催の挨拶 石田 惇子 氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 代表理事)
13:55～ 14:15 (20分)	はじめに 『コロナ禍における課題と、食支援の広がりについて「ミールズ・オン・ホイールズ」とは』 平野 覚治 氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事)
14:15～ 15:35 (80分) ※質疑応答含む	実践報告 『「食」がつなぐ地域の居場所』 荒川 陽子 氏 (宮城県・特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと 代表) 浜崎 寿一 氏 (宮城県・食事サービスネットワークみやぎ高齢者配食サービス「ほっと亭」 代表) 越智 和子 氏 (香川県・社会福祉法人琴平町社会福祉協議会 会長) 桜庭 千明 氏 (東京都・認定特定非営利活動法人育て上げネット プロジェクトマネージャー) (コーディネーター) 平野 覚治 氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事) (コメンテーター) 石田 惇子 氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 代表理事)
15:35～ 15:45 (10分)	説明・休憩・ブレイクアウトルームで移動
15:45～ 16:10 (25分)	情報交換会
16:10～ 16:25 (15分)	まとめ・終わりの挨拶
16:25～ 16:30 (5分)	【全体会への移動・休憩】

＜第3分科会：特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク＞
「移動支援の担い手を、どのように発掘・育成し、引き継いでいくか」

高齢者の通院・買い物・サロン等への移動の支援は、高齢のボランティアが支えている実態があります。車両を運転する活動であるため、引退する年齢の決め方や安全性の確保策、若手を確保するための謝礼の設定、事務局コーディネーターへの負担の集中等、悩みが付きません。サービス創出を検討する段階はもちろん、開始後も、常に担い手不足と後継者問題が付きまとうのが移動支援です。

本分科会では、立ち上げ支援を担う生活支援コーディネーター（SC）、活動の支援策を検討中の自治体、活動歴の浅い団体、活動歴の長い団体など、それぞれのみなさんの悩みや疑問を持ち寄り、解決に向けてどのように行動したらいいかを検討します。

時 間	内 容
13:45～ 14:00（15分）	「住民主体の移動支援を取り巻く最近の動き」 河崎 民子 氏 （特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長）
14:00～ 14:20（20分）	「生活支援コーディネーターが後押しして社会福祉法人等と地域の連携による移動支援を次々に創出した事例」 湯山 紀美子 氏 （静岡県・社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）
14:20～ 14:40（20分）	「地域ごとに異なる資源を活かして多様な移動支援を創出した事例」 中條 恵助 氏 （香川県・社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 地域福祉課長）
14:40～ 14:50（10分）	説明・休憩・ブレイクアウトルームで移動
14:50～ 16:00（70分）	【グループディスカッション】 4つのテーマで7～8人のグループにわかれ、情報・意見交換します。 テーマA 立ち上げ支援（SC等の初心者向け） テーマB 立ち上げ支援（SC等の経験者向け） テーマC 運営継続の課題（活動団体向け） テーマD 制度活用&解釈（行政職員やSC向け）
16:00～ 16:25（25分）	グループディスカッション報告 ※各テーマ1グループずつ
16:25～ 16:30（5分）	【全体会への移動・休憩】

【第3部 全体会】 16：30～17：00

時 間	内 容
16:30～17:00 (30分)	<p>パネルディスカッション</p> <p>「地域に住民主体の支え合い活動を広げるためのネットワークの充実」</p> <p>本プログラムでは、住民主体の支え合い活動の広がりや発展には何が必要か、それぞれのサービスの全体像を踏まえ、これからの住民参加型在宅福祉サービス団体の展望を考えます。</p> <p>【登壇者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 青木 洋之 氏 (住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事／新潟県・特定非営利活動法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎 事務局長) ・全国食支援活動協力会 平野 覚治 氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事) ・全国移動サービスネットワーク 河崎 民子 氏 (特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 副理事長) (コーディネーター) 田中 将太 氏 (琉球大学 専任講師／熊本県・特定非営利活動法人地域たすけあいの会 副代表理事) <p>【内 容】</p> <p>(1) それぞれのサービスの特徴や現状を踏まえ、今後さらに活動を広げていくための課題</p> <p>(2) 3 団体のお話を踏まえ、今後、住民主体の活動・サービスを地域に広げるための方策、全国組織としての役割、これからの期待</p>
17:00	閉会

1.1. 申込方法

住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会ホームページの「申込フォーム」からお申込みください。

<https://www.sankagata.net/> **住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会**で検索

※申込フォームには「希望する分科会」を選択する項目があります。必ず第二希望までご記入ください。（各分科会には定員を設けています。希望する分科会が定員を超えた場合は第二希望で調整する場合がありますのであらかじめご了承ください。）

※視聴する分科会会場の決定およびZOOMの入室用URLのご案内については、お申込み時のメールアドレス宛に10月17日（月）までにお知らせいたします。

※当日の資料については、お申し込み時のメールアドレス宛に10月17日（月）までにお知らせいたします。

1.2. 参加費について

お申込みいただいた方から順番に、ご登録いただいたメールアドレスに振込先のご案内をいたします。以下の内容をご確認いただき、参加申込をお願いします。

<振込期限：10月13日（木）>

【ご確認ください】

- 振込が確認できた方に、ZOOMのURLを送信いたします。
（期限までに振込が完了しなかった場合、申込キャンセルとなりますのでご注意ください）
- 支払方法は銀行振込のみとなります（振込手数料はご負担願います）。
- 振込後の受講料は原則返金いたしません。
- 振込に誤りがあった場合、期限までに振込が難しい場合など、参加費についての問い合わせについては、10月20日（木）までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

1.3. 個人情報の取り扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみで使用し、他の目的で使用することはありません。

個人情報の管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

<フォーラムの内容に関するお問い合わせ先>

全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター（担当：由利、渋谷）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL:03-3581-4656/FAX:03-3581-7858/e-mail sankagata@shakyo.or.jp